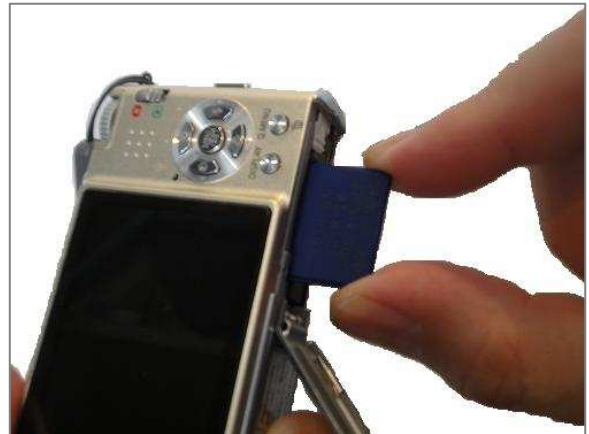
参　考　資　料

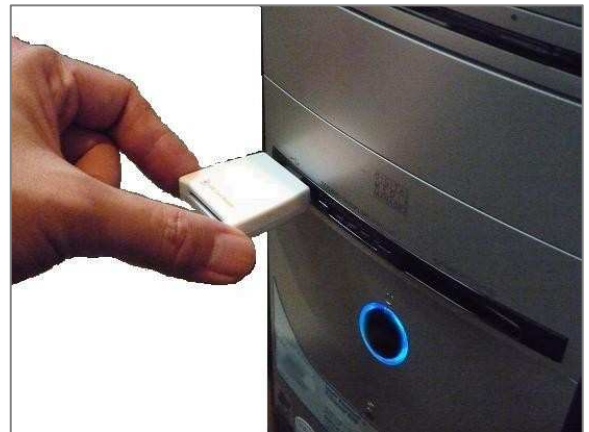
1　写真の取り込み

デジタルカメラ（以下、デジカメ）で撮影した写真データをパソコンに取り込みます。

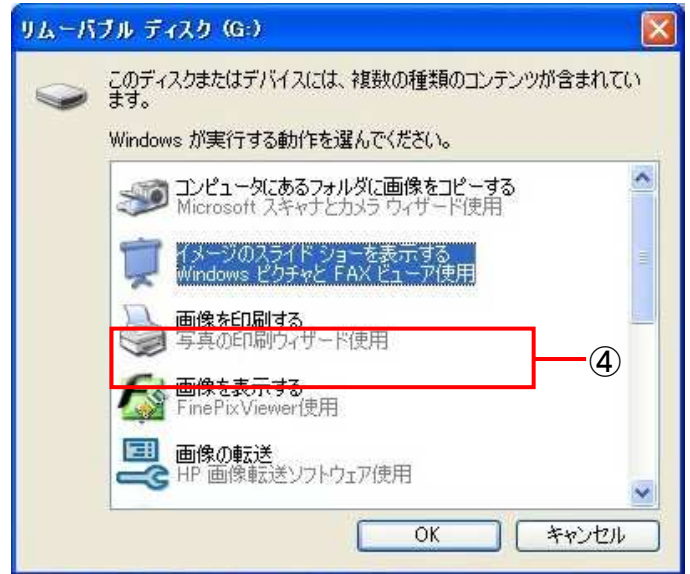
操作説明

①デジカメからメモリカードをとりだします。（メモリカードがセットされている部分のカバーを開け、デジカメからメモリカードをとりだす）

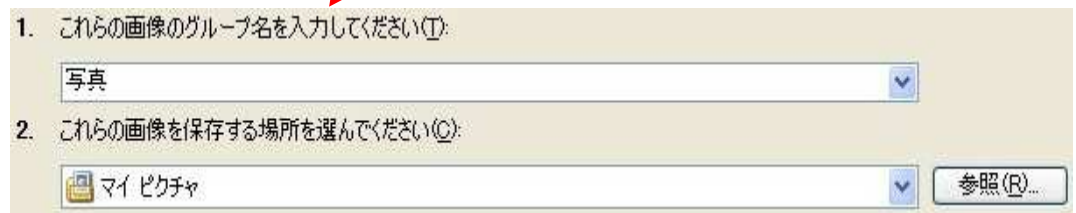
メモリカードをとりだす方法は、デジカメの機種により異なります。デジカメについている取扱説明書を参照してください。

②メモリカードリーダーをパソコンに接続します。

メモリカードリーダーは、機種によりさまざまな形状をしています。ご使用になるメモリカードリーダーについている取扱説明書を参照してください。

③メモリカードをカードリーダーにセットします。

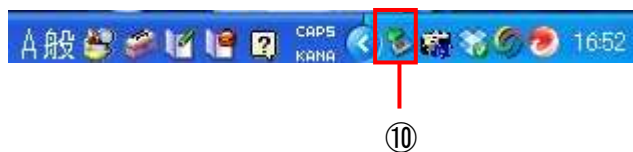
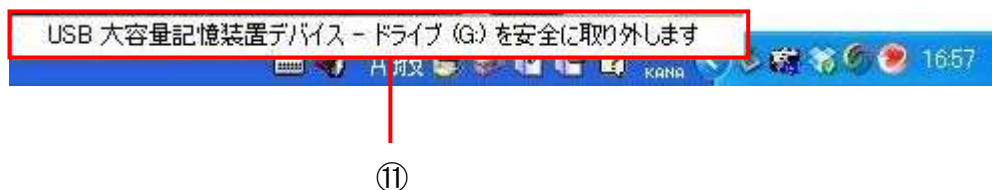
④[リムーバルディスク]ダイアログボックスが自動的に開きます。[コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする]を選択します。
＊設定によって自動的に開かない場合があります。

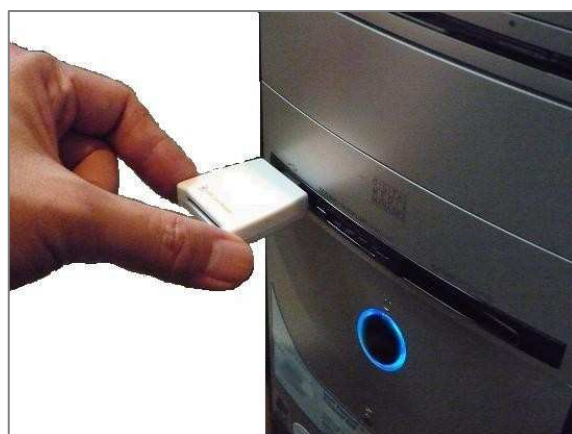
メモリカードリーダーを接続すると、自動的にドライブ番号が割り当てられます（教材ではGドライブ）。どのドライブになるかは、ご使用になるパソコンの環境によって異なります。

⑤[スキャナとカメラ　ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。

⑥コピーする画像をクリックし画像の右上にチェックが入っていることを確認したら、[次へ]ボタンをクリックします。

⑦[画像のグループ名]を入力し[画像を保存する場所]を選択したら、[次へ]ボタンをクリックします。
写真データの取り込みが始まります。

⑧[作業を終了する]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

⑨[完了]ボタンをクリックします。

⑩タスクバーの[ハードウェアの安全に取り外し]アイコンをクリックします。メッセージが表示されます。

⑪[USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブを安全に取り外します]をクリックします。

⑫メモリカードリーダーをパソコンから取り外します。

メモリカードをパソコンから取り外す方法は、パソコンの機種により異なります。パソコンの取扱説明書を参照してください。

2 文字入力

ローマ字入力

文字入力の方法には、ローマ字入力と
かな入力があります。研修では、ローマ字
入力をご説明します。
下記の「ローマ字表」を参照して、ローマ字
のつづり方を確認してみましょう。

50音

あ	A	い	I	う	U	え	E	お	O
か	KA	き	KI	く	KU	け	KE	こ	KO
さ	SA	し	SI	す	SU	せ	SE	そ	SO
た	TA	ち	TI	つ	TU	て	TE	と	TO
が	GA	ぎ	GI	ぐ	GU	げ	GE	ご	GO
ざ	ZA	じ	ZI(JI)	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO
だ	DA	ぢ	DI	づ	DU	で	DE	ど	DO
ば	BA	び	BI	ぶ	BU	べ	BE	ぼ	BO
ぱ	PA	ぴ	PI	ぷ	PU	ぺ	PE	ぽ	PO
な	NA	に	NI	ぬ	NU	ね	NE	の	NO
は	HA	ひ	HI	ふ	HU(FU)	へ	HE	ほ	HO
ま	MA	み	MI	む	MU	め	ME	も	MO
や	YA			ゆ	YU			よ	YO
ら	RA	り	RI	る	RU	れ	RE	ろ	RO
わ	WA			を	WO			ん	NN

濁音・半濁音
拗音・促音

ぁ	XA	ぃ	XI	ぅ	XU	ぇ	XE	ぉ	XO
ゃ	XYA			ゅ	XYU			ょ	XYO
				っ	XTU				
きゃ	KYA	きぃ	KYI	きゅ	KYU	きぇ	KYE	きょ	KYO
ぎゃ	GYA	ぎぃ	GYI	ぎゅ	GYU	ぎぇ	GYE	ぎょ	GYO
しゃ	SYA(SHA)	しぃ	SYI	しゅ	SYU(SHU)	しぇ	SYE(SHE)	しょ	SYO(SHO)
じゃ	ZYA	じぃ	ZYI	じゅ	ZYU	じぇ	ZYE	じょ	ZYO
ちゃ	TYA	ちぃ	TYI	ちゅ	TYU	ちぇ	TYE	ちょ	TYO
ぢゃ	DYA	ぢぃ	DYI	ぢゅ	DYU	ぢぇ	DYE	ぢょ	DYO
にゃ	NYA	にぃ	NYI	にゅ	NYU	にぇ	NYE	にょ	NYO
ひゃ	HYA	ひぃ	HYI	ひゅ	HYU	ひぇ	HYE	ひょ	HYO
びゃ	BYA	びぃ	BYI	びゅ	BYU	びぇ	BYE	びょ	BYO
ぴゃ	PYA	ぴぃ	PYI	ぴゅ	PYU	ぴぇ	PYE	ぴょ	PYO
ふぁ	FA	ふぃ	FYI	ふゅ	FYU	ふぇ	FYE	ふぉ	FO
みゃ	MYA	みぃ	MYI	みゅ	MYU	みぇ	MYE	みょ	MYO
りゃ	RYA	りぃ	RYI	りゅ	RYU	りぇ	RYE	りょ	RYO

図 4 ローマ字変換表

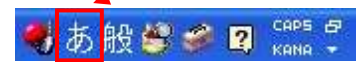
図5　キーボード配列表

図6　ホームポジション（指の置き方）

日本語の入力

日本語を入力するためには、日本語の辞書機能を持ったソフトが必要です。
Windowsのパソコンの場合、Microsoft IMEというソフトが組み込まれています。
画面の右下に「言語バー」が表示されています。

日本語入力のオンとオフの切り替え

日本語を入力するには、Microsoft IMEをオンにする必要があります。
オンの状態のとき、入力モードは「あ」と表示されます。

日本語を入力できる状態

Microsoft IMEがオフのとき、日本語を入力することはできません。
オフの状態のとき、入力モードは「A」と表示されます。

日本語を入力できない状態

Microsoft IMEのオンとオフの切り替えは、マウスを使う方法と、キーボードを使う方法があります。

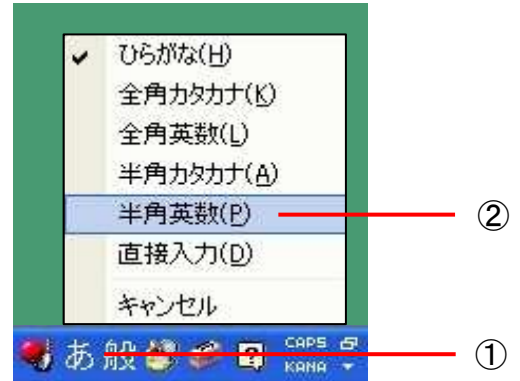
●キーボードを使ってオンとオフを切り替える場合

キーボードから入力する場合、[半角／全角]キーを使って切り替えます。

●マウスを使って、オンからオフに切り替える場合

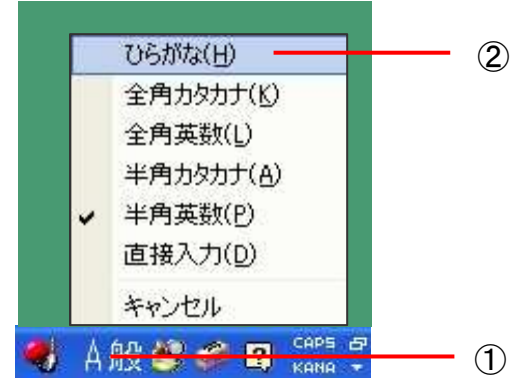
操作説明

①言語バーの[入力モード]ボタンをクリックします。
入力モードの一覧が表示されます。

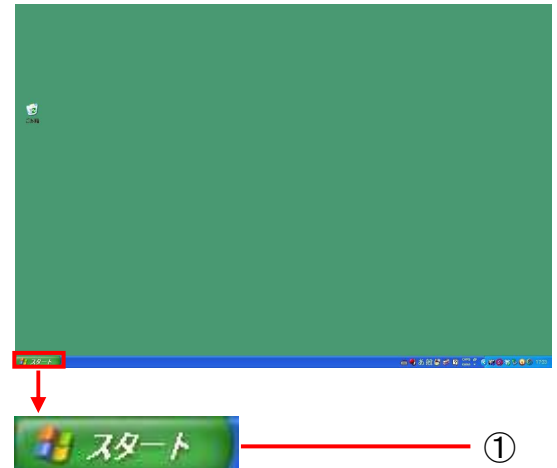
②[半角英数]をクリックします。

●マウスを使って、オフからオンに切り替える場合

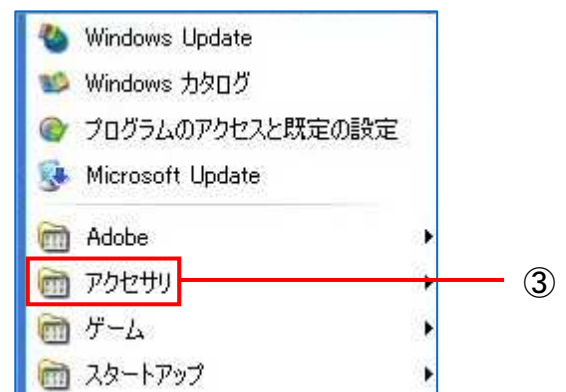
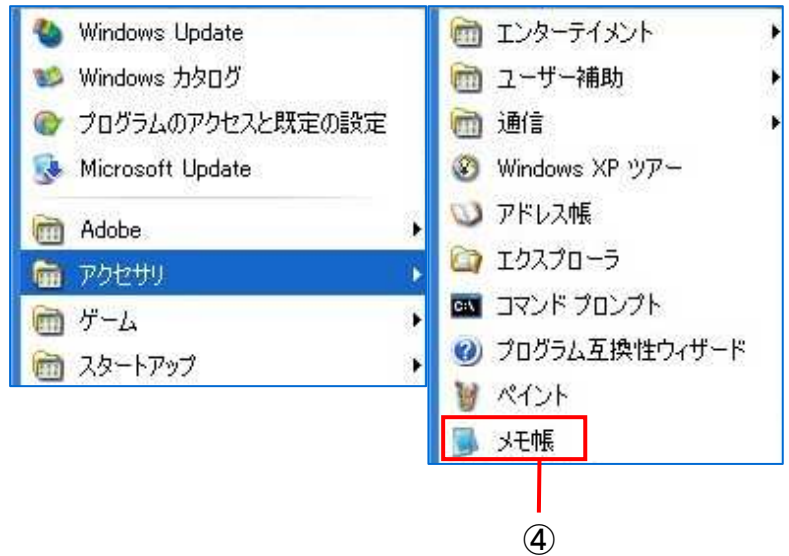
操作説明

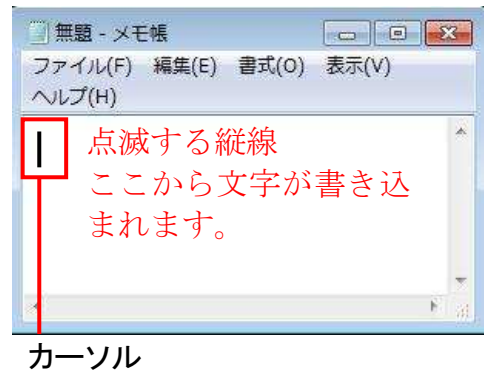
①言語バーの[入力モード]ボタンをクリックします。
入力モードの一覧が表示されます。

②[ひらがな]をクリックします。

ひらがなの入力

メモ帳を起動します。

①[スタート]ボタンをクリックします。

②[すべてのプログラム]をクリックします。

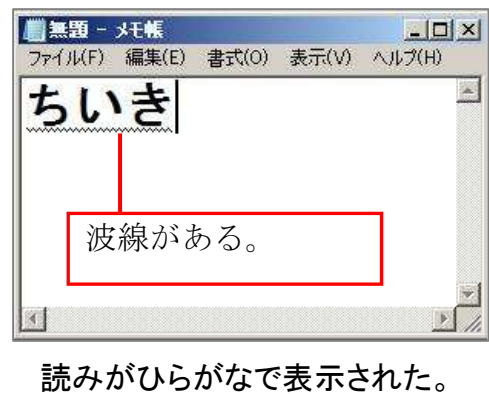
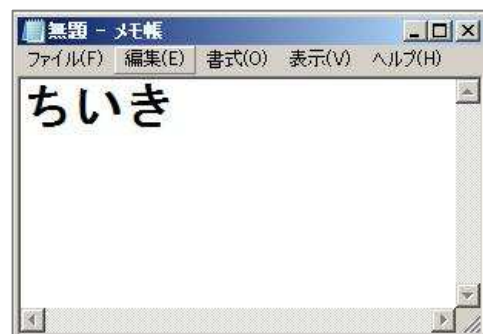
③[アクセサリ]をクリックします。

④[メモ帳]をクリックします。

⑤メモ帳が起動しました。

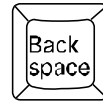
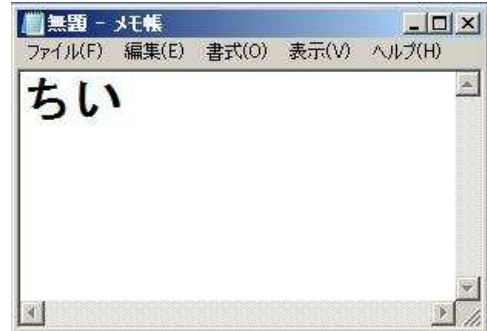
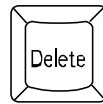
画面で点滅している細い縦線をカーソルといいます。キーボードから入力した文字は、カーソルが表示された位置から入ります。

カーソル

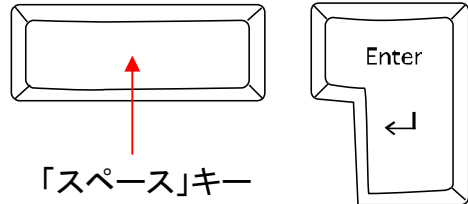
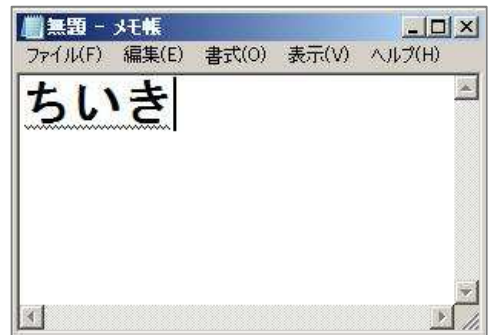
⑥ひらがなの読みを入力します。
例:「TIIKI」と入力します。

⑦「ちいき」の下に波線が表示されます。

読みがひらがなで表示された。

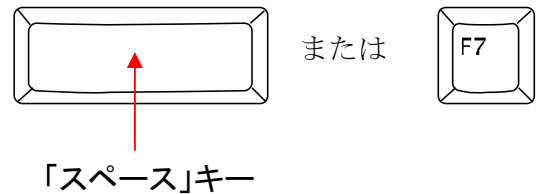
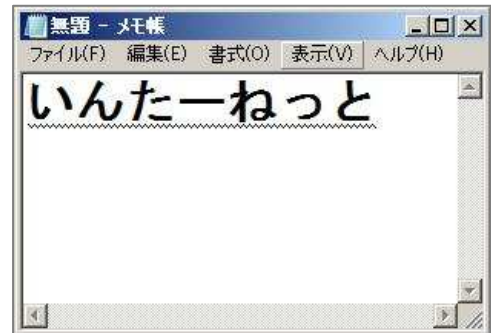
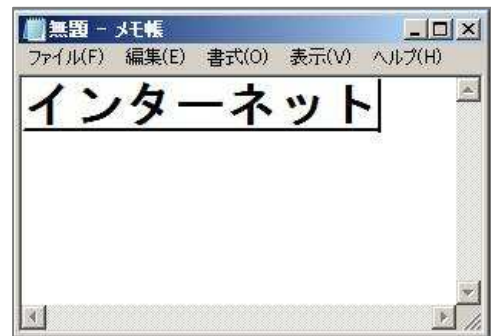
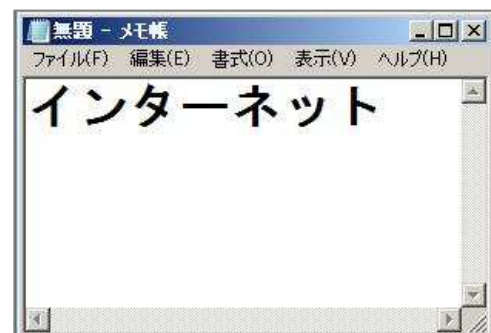
入力した文字の下に波線が表示されているときは、入力した文字がまだ確定していないことを示しています。

⑧[Enter]キーを押して確定します。
確定すると、波線が消えます。

文字の削除

入力した文字を削除するには、[Backspace]キーを使います。[Backspace]キーは、カーソルの左にある文字を削除します。

①カーソルが「き」のうしろに表示されているのを確認し、[Backspace]キーを1回押します。
カーソルの前にある[き]が削除されました。

[Delete]キーを押すと、カーソルの右側の文字が削除されます。

漢字変換

読みを入力してから、[スペース]キーを押して、漢字に変換します。次に[Enter]キーを押して確定します。

①「TIIIKI」と入力します。
「ちいき」の下に波線が表示されます。

②[スペース]キーを押して、漢字に変換します。
「地域」に変換されましたが、まだ確定していないので、「地域」の下に下線が表示されています。

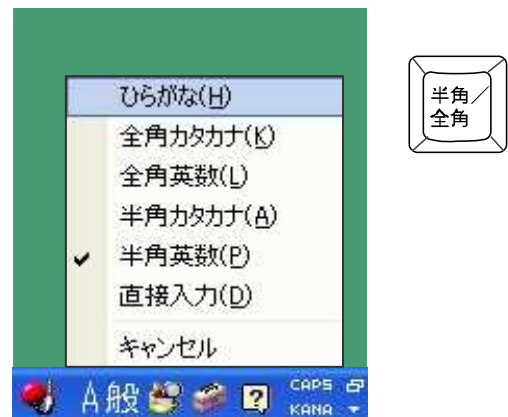
③[Enter]キーを押して確定します。
　文字列が 地域 に確定しました。

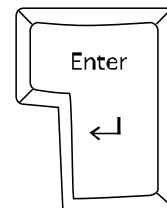
カタカナの入力

読みを入力してから、[スペース]キーを押して、カタカナに変換することができます。
あるいは、ファンクションキーの[F7]キーを押します。

①「INNTA－NETTO」と入力します。
「いんたーねっと」の下に波線が表示されます。

②[スペース]キーを押します。
カタカナに変換され、文字に下線が表示されます。

③[Enter]キーを押して確定します。

アルファベットの入力

アルファベットを入力するときは、Microsoft IME をオフにします。
そのままキーを押すと、小文字が入力されます。
[Shift]キーを押しながらキーを押すと、大文字が入力されます。

①Microsoft IMEをオフにします。

半角/全角

②[Shift]キーを押しながら[I]を入力します。[Shift]キーをはなし、小文字で「nternet」と入力ます。

③[Enter]キーを押して改行します。

④[Shift]キーを押しながら「INTERNET」と入力します。
大文字で入力されます。

3 スキルマップについて

分野	大項目	中項目	小項目
情報活用フィールド	情報社会への参加	主体的にコミュニケーションできる力	インターネットではネットワークを介して、他者と意見交換したり情報をやり取りすることができる。
			インターネットを使うことで生活をより豊かにすることができることを説明できる。
		情報を批判的に読み説く力	インターネットには正しい情報だけではなく間違った情報もあることを説明できる。
			インターネットにある情報は、送り手の考えや意見によって作られていることを説明できる。
			インターネットにある情報を鵜呑みせずに、批判的に読み解くことができる。
	情報活用力	Webページを操作する力	Webブラウザを立ち上げてWebページを閲覧することができる。
		情報を収集する力	検索サービスにキーワードを入れて、Webページを検索することができる。
			検索窓に2つ以上のキーワードを入れてWebページを検索することができる。
			地図検索サービスを使って、場所を確認することができる。
			画像検索サービスを使って、写真を検索することができる。
			画像共有サービスに登録されている写真の中から必要な写真をダウンロードすることができる。
			デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込んで利用することができる。
			メディアによっては情報の収集の仕方や情報の内容に違いがあることを説明できる。
			収集した数多くの情報から自分が求めている情報を選択することができる。
			テレビや新聞などの他のメディアと比較しながら、インターネットから自分の必要な情報を収集することができる。
			GPS機能を活用して外出や観光ができる。
		情報を発信する力	掲示板やSNSなどのコミュニケーションサイトに、紹介文を投稿することができる。
			画像共有サービスに写真を投稿することができる。
			ブログやメールなどのコミュニケーションツールの基本操作を行うことができる。
			デジタルカメラやプリンターなどの周辺機器の基本操作を行うことができる。
			ブログやメールなどのコミュニケーションツールにおいて写真や動画を利用してコミュニケーションすることができる。

分野	大項目	中項目	小項目
情報活用フィールド	情報活用力	情報を処理・編集する力	画像データの容量を変更できることを説明できる。
			デジタルデータを移動したりコピーしたりすることができる。
			ワープロやエディターを使って文章を作成することができる。
			画像編集ソフトを使って画像を作成することができる。
			収集した情報を整理したり、組み合わせたりして自分の目的に合った情報にすることができる。
			収集した情報と自分が作成した情報を区別して情報を作成する態度をもっている。
		情報を表現する力	グラフ、図や表を使うことで情報を分かりやすく表現できることを説明できる。
			ソフトウエアを利用してグラフ、図や表を作成することができる。
		情報を伝達する力	ブログやメールなどを利用して相手に自分の考えや意図を伝えることができる。
			自分の考えや意図は伝え方によっては伝わらなかったり誤解される場合があることを説明できる。
			自分の考えや意図を分かりやすい表現で相手に伝えることができる。
	情報ネットワークの仕組み	インターネットに関する知識	インターネットでは誰もが情報発信することができることを説明できる。
			インターネットでは文書・写真・動画などの情報を発信することができることを説明できる。
			インターネットでインターネットショッピング、チケット予約、ネットバンキングなどが利用ができることを説明できる。
			インターネットは情報が伝わるスピードが早いことを説明できる。
			インターネットは情報が伝わる範囲が広範囲になることを説明できる。
			インターネットでは一度流れた情報は撤回・消去できないことを説明できる。
			インターネットは匿名で利用してしまえることを説明できる。
		情報機器・ソフトに関する知識	コンピュータの基本的な仕組みを説明できる。
			ブログやメールなどのコミュニケーションツールの性質や用途について説明できる。
			携帯電話、デジタルカメラ、プリンタなどの周辺機器とパソコンとのかかわりについて説明できる。

分野	大項目	中項目	小項目
安全倫理フィールド	情報社会の倫理	コミュニケーションする相手を尊重する態度	個人情報の漏洩に配慮することの重要性を説明できる。
			コミュニケーション相手に配慮した発言をするべきであることを説明できる。
			文字だけのコミュニケーションでは言葉づかいが荒くなったり感情的になってしまう可能性があることを説明できる。
			インターネットのコミュニケーションにおいてもルールやマナーがあることを説明できる。
			自分と違う意見を持つ相手の意見を尊重してコミュニケーションする態度をもつ。
	法令の理解と遵守	関連法令に対する知識・態度・技能	人権に配慮したインターネットの活用ができる。
			Webページ、写真、本などの情報の多くは著作権により権利が保護されていることを説明できる。
			人を写真に写す場合やその写真をWebに掲載する場合には肖像権に配慮しなければならないことを説明できる。
			Webに公開されている写真の著作権は撮影者にあることを説明できる。
			著作権が切れた作品は許諾を得ずに利用することができることを説明できる。
			Webページで表示される契約内容を読んで理解することができる。
			インターネット上で購入、申し込み、契約行為を行うことができる。
	安全利用への知識	情報を安全に利用する力	インターネットの情報は玉石混交であることを説明できる。
		危険を回避する力	ウイルス、フィッシングサイト、スパムメールなどが危険であることを説明することができる。
			インターネットを利用していて困ったときには関連コールセンターに問い合わせてアドバイスを受けることができる。
		情報機器を健康的に利用する力	適切な休憩をとり、モニター画面を長時間注視しない。
			適切な姿勢でコンピュータを利用できる環境を整える。
			目の位置とモニターの位置を適切に調節できる。

分野	大項目	中項目	小項目
安全倫理フィールド	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	IDとパスワードを管理することの重要性を説明できる。
			どのような情報を開示するか、適切に個人情報の管理することの重要性を説明できる。
			セキュリティ上パソコンや携帯電話を適切に管理することの重要性を説明できる。
			自分や他者の個人情報を掲示板などに書き込むと、それを悪用するものがいることを説明できる。
			インターネットでは自分が受信したくない情報を送信してくる相手がいることを説明できる。
			インターネットで望ましくない情報に遭遇した場合の適切な対処ができる。
			コンピュータや携帯電話には沢山の個人情報が記録されていることを説明できる。
			インターネットでは、なりすましなど本人が名乗るとおりでない者がいることを説明できる。
			インターネットには不正アクセス等の行為を行う悪意の者がいることを説明できる。
			セキュリティ対策等が適切に行われているインターネットショッピングサイトを選ぶことができる。

4 教材で扱っているスキル

この教材では、スキルマップの以下の項目を扱っています。

章のタイトル	スキルマップ			
	大項目	中項目	小項目	
第1章 インターネットの閲覧	1.1 インターネットサービス	情報社会への参加	主体的にコミュニケーションできる力	インターネットではネットワークを介して、他者と意見交換したり情報をやり取りすることができる。
		情報社会への参加	主体的にコミュニケーションできる力	インターネットを使うことで生活をより豊かにすることができることを説明できる。
	1.2 ブラウザの起動	情報活用能力	Webページを操作する力	Webブラウザを立ち上げてWebページを閲覧することができる。
	1.3 Webページの閲覧の操作	情報活用能力	Webページを操作する力	Webブラウザを立ち上げてWebページを閲覧することができる。
	1.4 地域住民向けWebページの閲覧	情報活用能力	Webページを操作する力	Webブラウザを立ち上げてWebページを閲覧することができる。
第2章 検索	2.1 Webページの検索	情報活用能力	情報を収集する力	検索サービスにキーワードを入れて、Webページを検索することができる。
		情報活用能力	情報を収集する力	検索窓に2つ以上のキーワードを入れてWebページを検索することができる。
	2.2 画像検索	情報活用能力	情報を収集する力	画像検索サービスを使って、写真を検索することができる。
第3章 情報の利用	3.1 写真情報の収集	情報活用能力	情報を収集する力	画像共有サービスに登録されている写真の中から必要な写真をダウンロードすることができる。
第4章 情報の発信	4.1 投稿画面の作成	情報活用能力	情報を発信する力	画像共有サービスに写真を投稿することができる。
		情報活用能力	情報を発信する力	掲示板やSNSなどのコミュニケーションサイトに、紹介文を投稿することができる。
		情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	IDとパスワードを管理することの重要性を説明できる。
	4.2 投稿結果の確認	情報活用能力	情報を発信する力	画像共有サービスに写真を投稿することができる。
		情報活用能力	情報を発信する力	掲示板やSNSなどのコミュニケーションサイトに、紹介文を投稿することが出はる。
	4.3 投稿記事の変更	情報活用能力	情報を発信する力	画像共有サービスに写真を投稿することができる。
		情報活用能力	情報を発信する力	掲示板やSNSなどのコミュニケーションサイトに、紹介文を投稿することが出はる。
	4.4 投稿記事の削除	情報活用能力	情報を発信する力	画像共有サービスに写真を投稿することができる。
		情報活用能力	情報を発信する力	掲示板やSNSなどのコミュニケーションサイトに、紹介文を投稿することができる。
第5章 写真の取り込み		情報活用能力	情報を収集する力	デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込んで利用することができる。
第6章 ローマ字入力		情報活用能力	情報を処理・編集する力	ワープロやエディターを使って文章を作成することができる。

この冊子は、平成２２年度 文部科学省 「ICTの活用による生涯学習支援事業（国内における実証的調査研究）」により作成されました

平成２２年度文部科学省
「ICTの活用による生涯学習支援事業（国内における実証的調査研究）」

自分の住む地域の魅力を再発見する「地域まるごと博物館」活動と連携したインターネット活用能力育成プログラムの開発に関する調査研究

平成２３年３月２８日発行

一般社団法人 インターネットコンテンツ審査監視機構
〒141-0022 東京都品川区東五反田１－９－４ 五反田宏陽ビル 2F
電話：０３－５７３０－１６０１ FAX：０３－６２７７－３１１６
URL http://www.i-roi.jp/